

第25回総会 成功！

安全衛生推進は労働者共通の願い
組合活動と安全センターの活性化を



特別講演「増えつつけるメンタル不調を改善する」

九月二五日、一八時から中小企業センターで、尼崎安全センター第二五回総会を行いました。昨今では安全センターの活動への参加者が少なくなってきたようですが、今回は各労組・団体の参加呼び掛けのおかげで五八名集まる中で開催することができました。ぜひ定例交流会や安全と衛生の講演会の際にもご参加下さい。

二〇一三年度の活動報告

二〇〇五年のクボタショック以降、安全センターは中心活動としてアスベスト被害者の救済・新たな被害者出させない活動に取り組んできました。二〇一三年度はクボタショック九年の集會、アスベスト患者と家族の会との連携した活動、アスベスト訴訟（日通アスベスト訴訟、泉南アスベスト国賠訴訟、クボタ下請労働者家族肺がん訴訟、川崎重工アスベスト訴訟（裏面参照））などに取り組みました。とりわけ日通アスベスト訴訟については五年掛りの活動となりましたが、原告完全勝訴と言える内容で終わりを迎えることができました。もちろん定例交流会、安全と衛生の講演会にも取り組みました。各労組

安全センター

[発行]

尼崎労働者安全衛生センター

[連絡先]

〒660-0802

尼崎市長洲中通 1-7-6

TEL・FAX 06-4950-6653

明日への伝言
アスベストショックからノンアスベスト社会へ
あやまれつくねえ アスベスト
1,890円（当センター割引あり）

2014年度加盟労組・団体

JAM 東亜バルブ	武庫川ユニオン
〃 東洋精機	阪神医療生協
〃 木村化工機	阪神労災被災者交流会
〃 ヤンマー尼崎	ひまわり医療生協
〃 日本スピンドル	ひまわりの会労災被災者交流会
全国一般 富士レジン工業	
〃 阪急阪神ビルマネジメント	
日本板硝子共闘	賛助会員 連合尼崎
自治労 尼崎市職労	尼崎地区労
〃 尼崎市交通	全国一般阪神地協
〃 尼崎市水道	全港湾大阪支部
日興商会	自治労阪神淡路共闘会議
	連帯労組関西西生コン支部

2014年度役員体制

議長 松原 保 (尼崎市職労)	運営委員 末吉 幸雄 (日本板硝子共闘)
副議長 中村 好雄 (JAMヤンマー労組)	〃 藤田 哲平 (JAM東洋精機)
事務局長 飯田 浩 (専任)	〃 原 達也 (日興商会)
事務局次長 塩見 有生 (阪神医療生協)	〃 山下 弦 (JAM木村化工機)
会計 柏原 啓二 (阪神医療生協)	会計監査 武澤 泰 (アスベスト患者と家族の会)
運営委員 吉田 誠 (全国一般富士レジン工業)	〃 嶋内 良則 (社会保険労務士)
〃 山本 喜令 (全国一般 阪急阪神ビルマネジメント)	顧問 奥野 瑠 〃 谷村 梓

二〇一四年度の活動方針

同様に安全センターも活性化していく必要があります。現場で安全衛生活動の大切さの共有を進めましょう。今年度もクボタのアスベスト救済金支払いの窓口として被災者の掘り起しを進め、一・五kmを越える被災者の救済についての前進を目指します。アスベスト訴訟の支援活動を通

して被災者支援活動を継続します。機関誌の発行、ホームページの更新で労災・職業病やアスベスト疾病に悩んでいる方々との繋がりをめざします。「尼崎安全センター」で検索してください

交流会は、「有休取得の状況・取得の工夫」、「各職場のメンタルヘルス状況・対策」、「海外出張時の労働条件」、「下請け・協力会社の安全衛生」、「災害事例報告（大規模災害について考える）」、「安全衛生委員会」の取組み」などを、講演会は「メンタルヘルス問題とメンタルチェック」について、「組合を作ってきた団塊の世代の大量退職に伴い労働組合の取組んできたことを見直す」、

「脱原発はどのように進めたらよいか」、「過労死防止法について過労死被災者遺族の話聞く」などをテーマに進めていきます。もちろんクボタショックから一〇年目の集會を開催します。安全衛生に関心を持つ、安全センターに参加する労働者を皆の力で増やしていきましょう！

メンタル不調労働者と丁寧な関わり合いを

総会終了後、竹村隆医師に「増えつつけるメンタルヘルス不調を改善する」をテーマにお話いただきました。

(次頁へ)

(前頁より)

講師は「原因を特定し、それを叩いて健康を取り戻す」という通常の医学モデルではなく、「周りの理解・丁寧な関わりや病気と共存すること」が大切と言います。具体的には復職準備デイクアでの人とのアットホームな繋がりが回復の土台となったケースを紹介されました。



義務化されることになったストレスチェック制度ですが、「早期発見」という従来の考え方にのせ、社会からうつ病を早く発見して排除するような、世間の経済効率を優先する制度に見える」と批判しました。今後実施されることになりま。各労組においては本人の不利益にならないか、しっかりとチェックしていく必要があります。

「うつ病にやさしい職場は健康な人にとっても働きやすい職場です」と講師は言います。やさしい職場づくりがメンタルヘルス不調を起さない職場です。

労働組合が、働くもの同士が助け合える職場づくりを進めていくことが大切ではないでしょうか。

思いやりの大切さ知る

JAMヤンマー尼崎労組
安全センター副議長 中村好雄

今回の講演の中では過去の事例を元にお話をさせていただきました。これで改善するというような具体的な解決策は無いが、些細な事がきっかけで改善の方向に向かう事があった様なので、日常の会話や思いやりの行動が大切なのを再認識させられました。

組合員の“合(あい)”をとったら組員と言っていた事を思い、愛をもって接していけたらと思います。講演いただき有り難うございました。

第一回公判 胸を打つ原告二人の川崎重工糾弾

川崎重工相手の第一回の裁判は、九月二五日神戸地方裁判所で開かれました。傍聴席は原告の団地の住民やひょうご、尼崎の労働者とアスベスト被害者で満員でした。

まず、中皮腫で療養中の原告吉田嘉忠さんが意見陳述。吉田さんの存在を知っている人が誰一人いない、現場にいた証拠がないという川崎重工に、「このままでは会社社に切り捨てられる」と思い、当時の仲間に連絡を取り、何人かから証明するとの約束を得ました。それでも、川重は、私の作業従事歴証明書を印を押さず、私が川重で働いていたことを否認し

ました。」と、病身ながら思いのこもった力強い口調で神戸を代表する会社を糾弾しました。

続けてもう一組の原告であるご遺族の方から、夫は本当に大変な努力で難局を乗りこえて生きてきた人。私たちは退職者への石綿健康管理手帳の存在を知らなかった。会社からは連絡もない。夫は解決のための合意書への社長の自筆署名を求めたが断られた。川崎重工には会社として重大な欠陥があると思う。ぜひ裁判所には会社社に制裁を加え、正義を果たしてほしいと訴えられました。労働者とその家族の思いに真剣

に耳を傾けることなく、金額の提示(それも低い)だけで事足りれりとする企業の体質―それが問われている。被告川重側の弁護士にもその傾向あり)

「石綿で中皮腫」と提訴 川重で造船業務の元社員ら 神戸地裁

川崎重工(神戸市中央区)で造船業務に従事し、退職後、アスベスト(石綿)による中皮腫を発症したのは同社が安全配慮を怠ったためとし、元社員や遺族が22日、同社に慰謝料など計約9600万円の損害賠償を求め、神戸地裁に提訴した。原告は神戸市垂水区の元社員、吉田嘉忠さん(72)と、2012年に中皮腫で死亡した元社員の男性(当時67)の遺族。

氏名	年齢	職業	訴状によると、吉田さんは1961〜71年、神戸工場などに勤務。建造中の船内で、石綿の吹き付け作業が終った後の電装作業などに携わった。男性は63〜68年、同工場の勤務し、溶接の際、保温のためアスベスト製の布を切断して使用するなどしていた。
吉田嘉忠さん	72	元社員	2人は退職後の2011〜12年、それぞれ悪性胸膜中皮腫と診断され、労災認定を受け

2014. 7. 23 神戸新聞



劣化、損傷したアスベスト含有保温材

次回は神戸地裁で十一月二〇日(木)、午後三時からです。たくさん集まって下さい。県内ですでに一〇〇名を超す石綿被害者を出している川崎重工の情報を提供して下さい。

宣告を受けて闘病中の吉田さんは「生きている間に裁判を決着させたい」。男性の妻は「悲惨な闘病生活を余儀なくされた。川重は誠意ある対応を」とコメントした。同社の広報担当者は「訴状の内容を見ていないのでコメントできない」としている。

学校内の石綿保温材など調査

昨年の七月二六日の事です。尼崎市内の塚口小学校で、機械室内のガス吸収式冷温水機の配管の一部に使われていたアスベスト含有保温材が、一般の産業廃棄物として業者に回収されていたことが明らかになりました。特別管理廃棄物として石綿飛散防止の処理をしなかったのです。学校には吹き付けアスベスト以

外にもアスベストを含む保温材や耐火被覆材が校内のあちこちで使われています。今年の七月一四日、子供たちの安全に万全を期すために、文科省は全国の学校の石綿含有保温材(今回は室内)や煙突の使用状況を調べるように指示をしました。主に平成八年(一九九六年)以前に完成した建物対象で、調査結果は一〇

月三日までに提出することとされています。学校ではすでに教員などに多くのアスベスト被害が出ており、実地目視調査の際、専門家である「建築物石綿含有建材調査者」への相談や防塵マスクの準備なども怠りなく進めてもらわなければなりません。私たちの安全センターにも、子供を学校へ行かせているたくさんのお母さんがいます。調査結果に注目したいと思っています。